

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	令和5年度にしく市民活動支援センター運営事業	
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人市民セクターよこはま
	行政	西区役所 地域振興課
事業の目的	市民公益活動、生涯学習活動及びボランティア活動の支援を通して、市民の理解と参画のもとに、区民力の向上による豊かな地域づくりを図ること。	
事業の内容	市民公益活動に関する相談対応、情報提供・発信、活動の場（軽易な打合せスペース等）の提供、地域人材ボランティアバンク事業に関すること、区民利用施設等との連携による活動支援や団体運営の支援など	
役割及び責任分担等	次頁のとおり	
実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	

記入日	令和6年5月13日
記入者	[団体等] ・団体等名： 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま ・記入責任者 氏名： 松本 道雄 連絡先： 045-620-6624
	[行政] ・部署名： 西区役所地域振興課 ・記入責任者 地域振興課長 氏名： 加藤 久雄 連絡先： 045-320-8393

役割及び責任分担等

事業項目	受託者の役割	委託者の役割
にしく市民活動支援センターの管理運営に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 設備の管理 2 軽微な維持修繕 	<ol style="list-style-type: none"> 1 設備の提供 2 設備の管理に関する調整及び協力
にしく市民活動支援センター事業に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民公益活動等のネットワーク化 2 市民公益活動等の相談対応 3 市民公益活動等に関する情報提供・発信 4 市民公益活動等に関する活動の場の提供 5 地域人材ボランティアバンク事業の実施 6 区民利用施設等との連携による活動支援 7 自主企画事業の企画・実施 8 西区地域づくり大学校の企画・運営 9 その他市民公益活動に関する企画及び実施・活動支援 	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民公益活動等のネットワーク化についての調整及び協力 2 市民公益活動等の相談対応についての調整及び協力 3 市民公益活動等に関する情報提供・発信についての調整及び協力 4 市民公益活動等に関する活動の場の提供についての調整及び協力 5 地域人材ボランティアバンク事業の実施についての調整及び協力 6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力 7 自主企画事業の企画・実施についての調整及び協力 8 西区地域づくり大学校の企画・運営補助 9 その他市民公益活動に関する企画及び実施・活動支援についての調整及び協力
事業改善に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者のニーズ把握とサービス向上 2 運営事業団体として必要になる事業の検証 3 横浜市として必要になる事業の検証への協力 	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者のニーズ把握とサービス向上についての調整及び協力 2 運営事業団体として必要になる事業の検証への協力 3 横浜市として必要になる事業の検証
その他支援センターの管理運営等にあたり必要となる事務事業に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用統計 2 運営事業団体として必要となる情報公開及び説明責任に関する業務 3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究 4 その他、区が行う市民公益活動等に関する施策・事業への協力 	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用統計についての調整及び協力 2 横浜市として必要になる情報公開及び説明責任に関する業務 3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究についての調整及び協力 4 横浜市役所内部の連絡調整

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 <ul style="list-style-type: none">・毎月の定例会議を通して、センターの利用者情報や地域活動状況を共有することができた。・実施事業内容を共有することで、相互に方針のアドバイスや広報協力を行うことができた。
【今後改善が必要と思われること】 <ul style="list-style-type: none">・個別の事業において、事業計画策定の段階から双方での話し合いを重ね、センターと地域振興課相互の強みをどのように活用できるか、議論する余地がある。
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 <ul style="list-style-type: none">・地域振興課主催講座(写真で西区の今昔を学ぼう)について、企画段階からセンターと情報共有を行い、講座運営への協力をいただくことで、より良い事業実施へつなげることができた。
【今後改善が必要と思われること】 <ul style="list-style-type: none">・地域振興課主催講座をきっかけに、地域振興課とセンターが協働して「西区今昔かるた」を中心にした人材発掘・育成、継続的な活動支援を行う必要がある。・引き続き、区役所各課に向けたセンターの事業等について情報共有の方法を検討する必要がある。また、センターと地域振興課と一緒に地域活動の場を訪問するなど、活動内容の実態を把握・共有できると良い。
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
<ul style="list-style-type: none">・毎月の定例会議を通して、センターの利用者情報や地域活動状況を共有することにより、地域のニーズに則した生涯学習講座を実施することができた。・広報よこはま西区版への特集掲載や西区民まつりへの出展(おやこ休憩室の設置、イベント開催)など、地域振興課とセンターが連携して、センターの活動PRを行うことができた。・地域振興課主催講座(写真で西区の今昔を学ぼう)では、センターの運営協力を受けながら事業を進め、受講者が中心となって作成した「西区今昔かるた」を完成させることができた。また、次年度以降の継続的な活動につなげられるよう、地域振興課とセンターの両方で検討を重ねることができた。
自由記入欄
<ul style="list-style-type: none">・地域振興課主催講座(写真で西区の今昔を学ぼう)は、センター利用者の声から企画が始まり、講座運営についてもセンターの協力を得ながら進めることができた。本講座を通じて完成した「西区今昔かるた」は、世代を問わず西区の今昔について知ることができる良いツールなので、今後もこのかるたを中心に、地域のつながりづくりに向けて地域振興課とセンターの両方で協働して取り組みたい。・定例会に限らず積極的に双方の話し合いの場を設けるなど、お互いの強みが発揮できるよう、より協働で運営する意義を意識しながら効果的な運営を目指す。